

感染症対策で“ノー”密な地域ふれあい事業を

A 自治会の活動例

公民館の一室で行われているお茶のみ会。広い部屋に替え、一つの机に一人ずつ座り、間隔を空けて会話を楽しんだ。飲食は水分補給用のお茶のみ。

アドバイス

密を避ける点で効果的。距離は2m以上離れることが理想的。あとは換気を十分にすること。換気扇など、強制換気が一番理想。

窓を開けての換気では、常に少し開けておく換気が良い。換気のポイントは、部屋の対角上で窓や扉を開けると空気が動きやすい。

飲食では必ずマスクを外してしまうので、感染リスクは高まる。基本的に食べることは避けたほうが良い。



B 自治会の活動例

公民館の一室で行われているお茶飲み会。屋外に場所を替え、お茶飲み会を開催

アドバイス

屋外にすることで換気の必要性がなくなるので、効果的
ただ、換気の問題はクリアできているが、屋外であっても、室内と同じように、密を避けるなどの感染対策は必要。2m以上の間隔が理想的



C 自治会の活動例

公民館に集まり、昼食を兼ねた食事をとりながら、お祝いを行う敬老会を、公民館にお弁当や記念品を取りに来てもらい、来られない方には訪問して渡す形に替えた。

アドバイス

集まらないことで密が避けられているので効果的
その代わりに、一時に人が集中してしまうのは避ける。集まったら間隔を空ける。理想は2m以上。飲食に関して、同じものを取り分けたり、同じ道具を共用したりする等は避けた方が良い。その点でもお弁当にすることで個人持ちにするという点は効果的

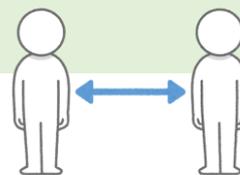


D 自治会の活動例

催し物の関係者を集めての会議を、同じ内容で2部制に分けて、人数を半分ずつにして開催した。

アドバイス

人数が少なくなることで、密が避けられているので効果的。肝心なことは距離なので、2m以上の距離がおけるような空間にすることが重要。注意として、入れ替えの時は必ず換気をする。換気扇など、強制換気が一番理想。窓を開けての換気では、常に少し開けておく換気が良い。換気のポイントは、部屋の対角上で窓や扉を開けると空気が動きやすい。



E 自治会の活動例

高齢者をお祝いとした敬老会を、会自体は中止とし、記念品を配り、お祝いメッセージ等を回覧した。

アドバイス

集まらないことで密が避けられているので効果的。回覧物については要注意。同じ物の共用は避ける。余裕があれば回覧より配ってしまった方がリスクは下がる。



上田市社協は、コロナ禍においても誰もが安心して暮らせる地域づくりに努めていきます。

近年、様々な生活課題が表面化してきていますが、この課題の中には、住民同士の支え合いや助け合いで解決できることも少なくありません。

人は誰かとつながることで心身の健康を保ち、さらには顔の見える関係ができることで、助け合い・支え合いの活動に発展します。それには、地域の居場所、ふれあいの“場づくり”が大変重要です。

地域ふれあい事業について、それぞれの実情を踏まえ、感染症対策に十分注意しながら、できる方法や形を探してみませんか。

地域ふれあい事業に関してのご相談は、上田市社会福祉協議会までご連絡ください。